

地震のときの電気火災を防ぐため 感震ブレーカーを設置しましょう



～なぜ感震ブレーカーが必要なのか？～

地震が起きると、同時に多くの火災が発生します。しかし、道路の通行止めなどにより消防車がすぐに到着できないことがあります。

火災は「起きてから消す」のではなく、

「起きないように防ぐ」ことが大切です。

地震による火災の過半数は「**電気**」が原因です。

感震ブレーカーで電気火災を防ぎましょう。

●地震による電気火災とは？

地震のときには、次のような原因で火災が起こることがあります。

よくある原因

- ・電気ストーブなどが倒れて出火
- ・傷ついた電気コードのショート
- ・倒れた家具で配線が壊れる
- ・停電が復旧したときの「通電火災」

避難のときにブレーカーを切らないと、火災が発生する危険があります。



●感震ブレーカーとは？

感震ブレーカーは、地震の大きな揺れを感じると自動で電気を止める装置です

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

（総務省消防庁リーフレットより）

～メリット～

✔ 外出中でも安心

自動で電気を止めます

✔ すぐに避難

スイッチを切る必要がありません

✔ 電気火災を防ぐ

ストーブの転倒やコードの傷による火事を防ぎます

～設置後の注意ポイント～

明かりを確保
懐中電灯と足元灯の準備

定期的な点検
機器をチェック

医療機器への配慮
バッテリーの確認

●今から地震に備えましょう

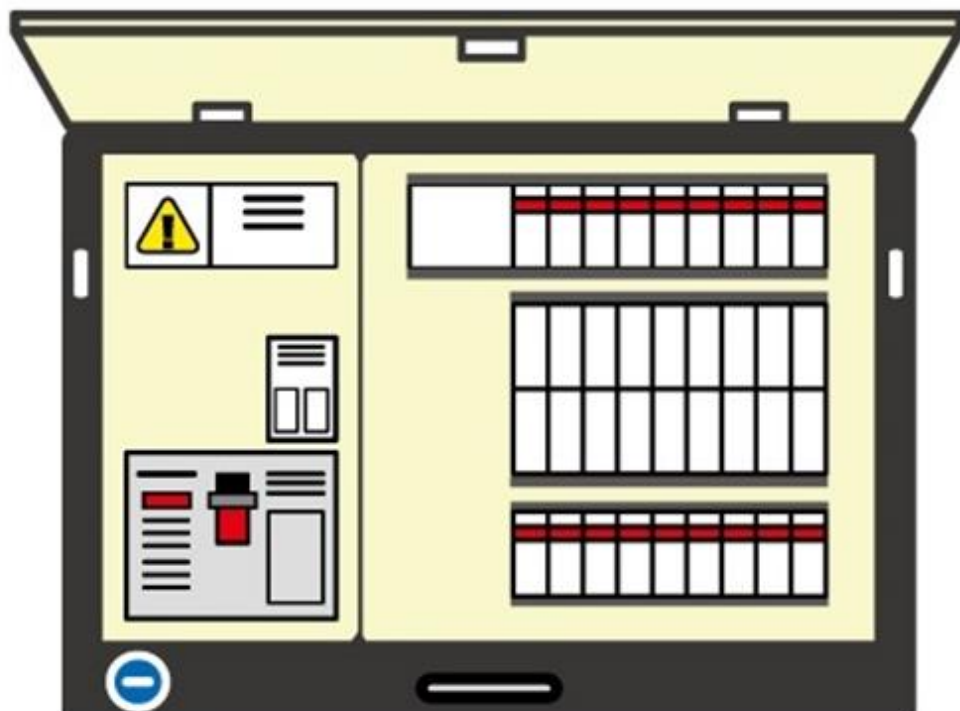
感震ブレーカーの設置は、家庭でできる重要な防火対策です。
家族や住まいの状況に合ったものを選び、地震に備えましょう。

詳しくは

- [地震対策<内部リンク>](#)
 - [総務省消防庁<外部リンク>](#)
 - [内閣府<外部リンク>](#)
 - [リーフレット<外部リンク>](#)
- の資料をご確認ください。



感震ブレーカーを 設置しましょう!!



お問い合わせ

川越地区消防局 予防課 ☎049 - 222-0744